

第4学年 国語科学習指導案

日 時： 令和5年11月29日（水）

学 級： 4年2組 32名

指導者： 尾久第六小学校 4年担任

自分の考えをもち、主体的・対話的に学びを深める児童の育成
～国語科「読むこと」を通して～

1. 単元名 中心となる語や文を見つけて要約しよう

教材名「世界にほこる和紙」 増田勝彦（光村図書 国語 四下 はばたき）

2. 単元の目標

知識及び技能	・主語と述語の関係、修飾と非修飾との関係、指示する語句と接続する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。((1)カ) ・考えとそれを支える理由と事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。((2)ア)
思考力・判断力・表現力等	・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。(C(1)ウ)
学びに向かう力・人間性等	・粘り強く、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約しようとしている。

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①主語と述語の関係、修飾と非修飾との関係、指示する語句と接続する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((1)カ) ②考えとそれを支える理由と事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	①目的を意識して、中心となる語や文を見付けている。 (C(1)ウ) ②目的を意識して、中心となる語や文を使い、要約している。 (C(1)ウ)	①粘り強く、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約しようとしている。

5. 研究主題に迫るための手立て

(1) 単元構成の工夫

学習のゴールを見せる…単元の最初に、伝統工芸のよさについてまとめたリーフレットを見せ、友達に分かりやすいリーフレットを作るために、「世界にほこる和紙」を読んでいくことを伝え、活動の見通しをもち、意欲的に取り組めるようにした。

(2) 学習過程の工夫

3～4人のグループでの話し合い…自分の考えをもった後にグループでの話し合いを行う。
ホワイトボードに話し合った内容を書き、掲示できるようにする。

(3) 文章表現や描写に着目できるようにするための工夫

ワークシートの工夫…中心となる語や文を見付けるワークシートを第2時～第4時に使用する。

6. 単元の指導と評価の計画

時	◆目標 ○学習内容	評価			
		知 技	思 判 表	態 度	◎評価規準 <評価方法>
1	◆伝統工芸について、関心をもつとともに、学習の見通しをもち、学習計画を立てることができる。				
	○伝統工芸について関心をもつ。 ○単元の学習のめあてを確認し、学習計画を立てる。				
2	◆おおまかな内容を捉え、文章全体を「初め」「中」「終わり」に分けることができる。				
	○全文をよみ、おおまかな内容を捉える。 ○段落を確かめ、文章全体を「初め」「中」「終わり」に分ける。	①	①		◎主語と述語の関係、修飾と非修飾との関係、指示する語句と接続する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。<記述・発言> ◎目的を意識して、中心となる語や文を見付けている。<記述・発言> ※2～4時に継続して評価する。
3	◆「中」を二つのまとまりに分け、筆者の考えの理由となる二つのことを読み取ることができる。				
	○「中」を大きく二つに分ける。 ○「中」に述べられている二つの理由を読み取る。	②	①		◎考えとそれを支える理由と事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。<記述・発言>
4	◆「中」で、どのような事例が何を説明するために、述べられているのかを読み取ることができる。				
	○「中」で挙げられている例を確認し、何を説明するために挙げられているのかを考える。 ○「中」で挙げられた事例が、どんなことを伝えるために挙げられていたのか整理する。	②	①		◎考えとそれを支える理由と事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。<記述・発言>
5 (本時)	◆「初め」「中」「終わり」のまとまりごとに中心となる語や文を捉え、文章を要約することができる。				
	○「初め」「中」「終わり」のまとまりごとに中心となる語や文を考え、整理する。 ○「世界にはこる和紙」を要約する。		②	①	◎目的を意識して、中心となる語や文を使い、要約している<記述> ◎粘り強く、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 <記述・発言>
6	◆友達が書いた要約文を読み、感想を伝え合うことができる。				
	○書いた要約文を友達と読み合う。 ・言葉の選び方やまとめ方でいいなと思ったところを伝え合う。 ○もう一度要約を書く。		②	①	◎目的を意識して、中心となる語や文を使い、要約している<記述> ◎粘り強く、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 <記述・発言>

7. 本時の学習 (5/6)

(1) ねらい

「初め」「中」「終わり」のまとまりごとに中心となる語や文を捉え、文章を要約することができる。

(2) 展開

時間	○主な学習活動	※指導上の留意点 ★評価 () 評価方法
3分	○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 筆者の思いや考えが伝わるように 「世界にほこる和紙」を要約しよう。 </div>	※51ページの「たいせつ」を読み、要約するときのポイントを考える。
37分	○「初め」「中」「終わり」のまとまりごとに、中心となる語や文を考え、整理する。(10分) ・「初め」「中」「終わり」のまとまりごとに、繰り返し使われている言葉や筆者の思いや考えが表われた文章を確認する。 ・3~4人のグループで自分の考えを伝え合う。 ○要約するときのポイントを確認する。(7分) <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 要約するとき (教科書上巻p.86) ・話題をおさえ、くり返しでてくる言葉や、まとまりの中心となる文に気を付けてまとめる。 ・全体のまとめや、問いに対する答えの部分を中心にまとめる。 </div> ○「世界にほこる和紙」を要約する。(20分) ・「初め」「中」「終わり」から中心となる語や文を見付けて、200字程度にまとめる。	※第2時~4時まで中心となる語や文を書いたワークシートを活用する。 ※電子黒板で上巻p.86「要約するとき」を活用する。 ※指導者が作成した要約(200文字程度)を掲示する。 ※文章量の調節が難しいときは、「初め」「中」「終わり」のおおまかな文章量を提示する ★目的を意識して、中心となる語や文を使い、要約している<記述> ★粘り強く、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 <記述・発言>
5分	○本時の学習を振り返る。 ・中心となる言葉や文(筆者の考えや繰り返し出てくる言葉)を使って要約できたかを振り返り、カードに記入する。	